

## ○旅館業の現況について

### 1. 業界(組合員)の経営環境について

連合会名：全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

#### 業界(組合員)の経営資源の強み

- ・ 高い接客能力を持つ社員、厚い顧客基盤
- ・ 日本の「おもてなし」や伝統を伝える施設・設備、和の文化の継承（温泉、畳、料理、和服など）

#### 業界(組合員)の経営資源の弱み

- ・ 装置産業としての側面が多く、恒常的に設備投資コストが必要
- ・ 人材の不足（若い労働者の不足、定着率の低さ）
- ・ 季節や曜日による繁閑差が大きい。
- ・ 小規模、零細事業者の割合が大きい。

#### 業界(組合員)を取り巻く環境 → (競合(大手等)、顧客、マクロ環境など)の良い状況

- ・ 訪日外国人旅行者数の増加（平成30年、3,119万人超）
- ・ 日本人国内旅行者の増加（平成29年：宿泊旅行3億2333万人 前年0.7%減／宿泊旅行消費額16兆798億円 前年比0.3%増）
- ・ 東京オリンピック開催に向けての機運の高揚

#### 業界(組合員)を取り巻く環境 → (競合(大手等)、顧客、マクロ環境など)の悪い状況

- ・ 住宅業の宿泊業への参入（住宅宿泊事業法 平成30年6月15日施行）
- ・ 旅館業法の規制緩和及び旅館業法適用除外の宿泊施設がおよぼす組合員施設への影響
- ・ 東京オリンピックを控えての過剰なホテル新規開業
- ・ 改正耐震改修促進法による耐震診断結果公表後の影響

## 2. 振興指針に定められた事業の取組状況等

連合会名：全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

### 組合で策定する振興計画の作成に当たっての指導、振興計画の取組状況等の把握

- ・ 組合が振興計画を作成する際に、連合会として取組みをした方が良い事業について提案

### 組合への支援事業の取組状況

- ・ 災害対応マニュアルの作成配布
- ・ HACCP衛生管理手引書の作成配布
- ・ おもてなし検定セミナーの開催
- ・ 人に優しい地域の宿づくり賞（顕彰制度）の推進
- ・ 旅館賠償責任保険の斡旋

### 特に成果の上がった事業(取組)

- ・ 平成30年6月13日に食品衛生法等の一部改正により、製造・加工、調理、販売等を行う全ての食品事業者を対象として、HACCPに沿った衛生管理が制度化されることになった。これに対応するため、公益社団法人日本食品衛生協会の協力を得て、旅館・ホテルにおけるHACCPの考え方を取り入れた衛生管理手引書を作成することができた。

### 取組が難しい事業

#### 改善方策